

APIEプログラムと コミュニティ人材育成

Noriatsu Kudo, Ph.D
Keio University / WIDE Project / SOI Asia



自己紹介

工藤紀篤(Noriatsu Kudo, Ph.D)

略歴

2000年 青森県立弘前高等学校卒

2000年 4月上智大学入学7月退学

2000年 9月慶應義塾大学入学

2004年 慶應義塾大学環境情報学部卒

2007年 慶應義塾大学 政策・メディア研究科修士課程修了

2014年 博士(政策・メディア)取得

2014年 一般社団法人Mozilla Japan(現WebDINO Japan)

慶應義塾大学大学特任助教

2019年 津田塾大学非常勤講師

2020年 WIDEプロジェクトボードメンバー

2021年 Asia Pacific Internet Engineering プログラムをスタート

2024年 慶應義塾大学特任講師

2026年 慶應義塾大学特任准教授

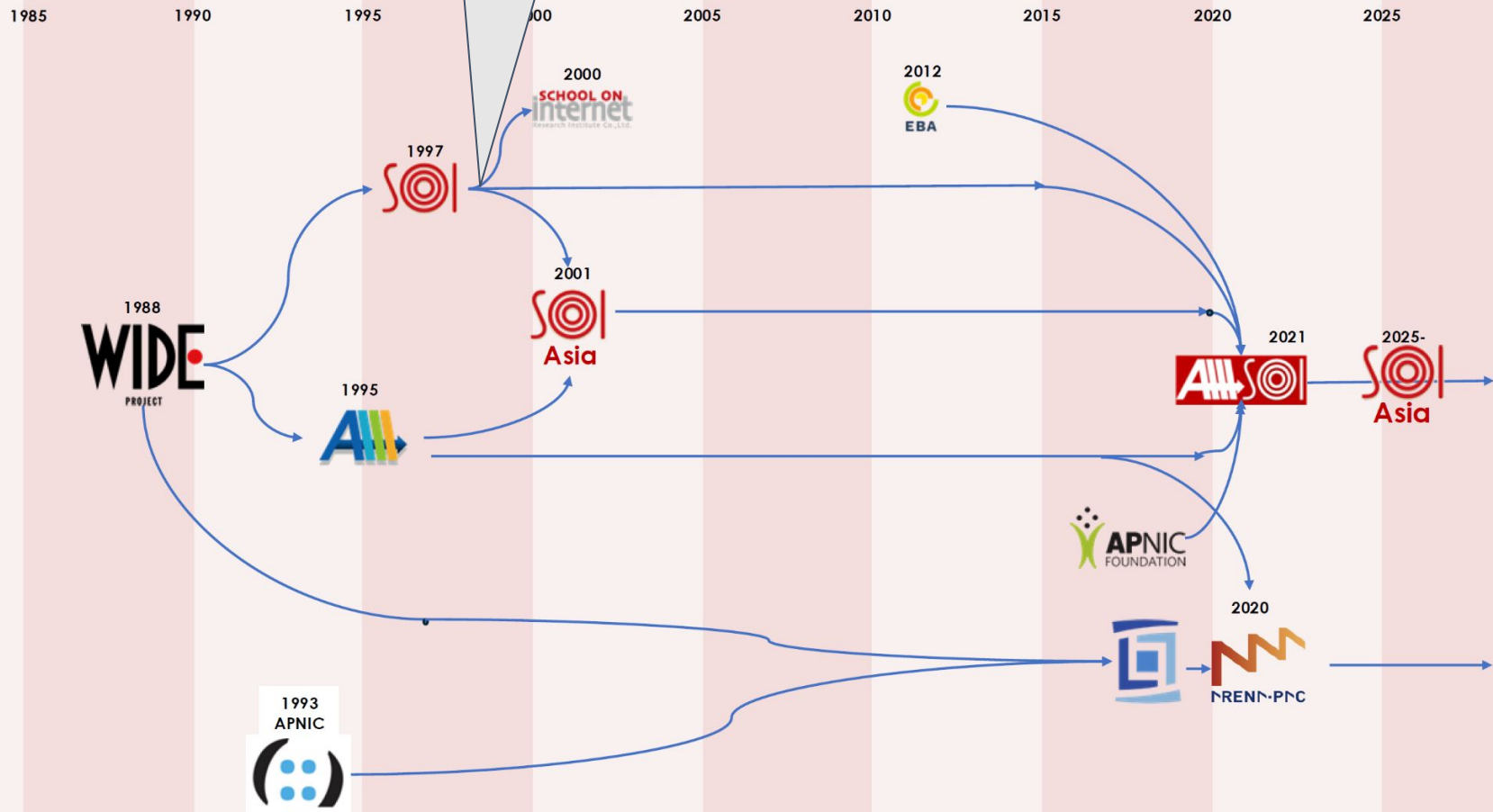
2000年4-7月 SOIオンライン受講

2001年SOI Asiaスタート

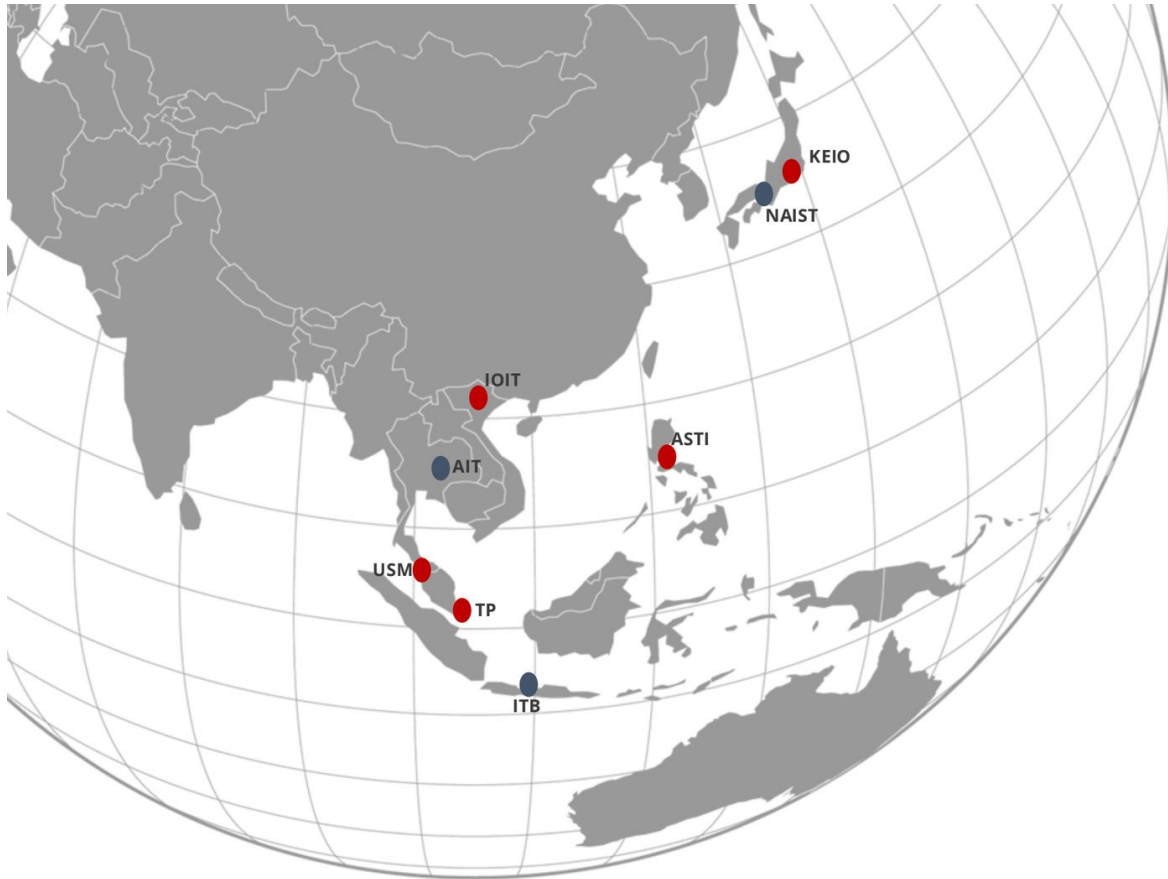
専門分野: インターネット上のコミュニケーション (遠隔教育/医療etc)



大学1年
ここからスタート



2001年 インターネット普及率 8.6%



2001

8.6%

Phase II

3 KU band sites

5 C bands

UDL

/32 IPv6 sTLA

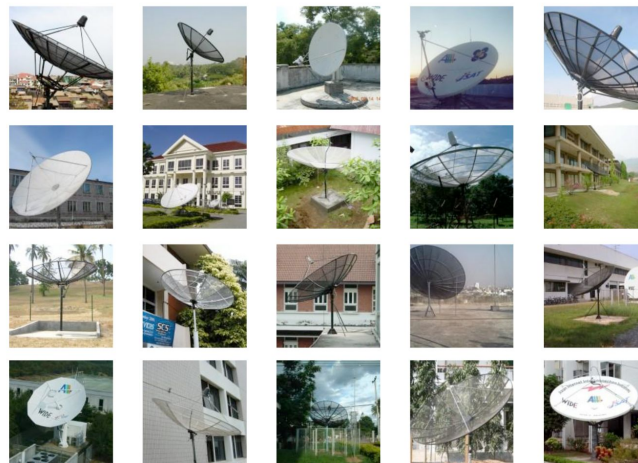
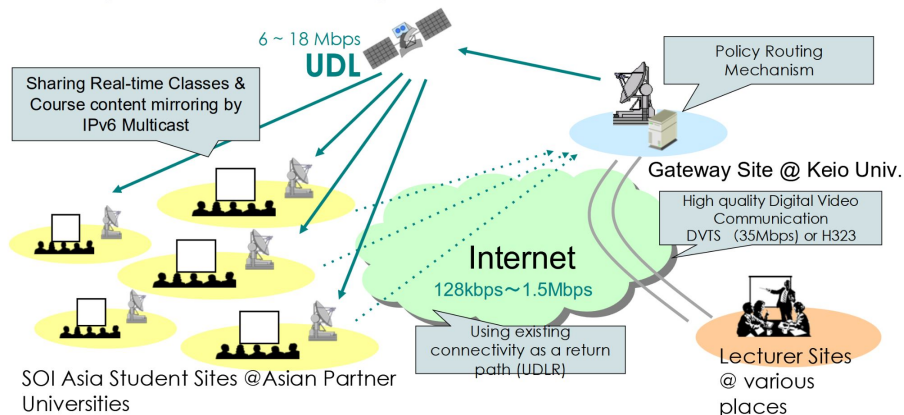
Multicast PIM-SIM

IPv6 Multicast

Satellite-based
communication
infrastructure

衛星インターネットを基盤にした School On the Internet プロジェクト

Lecture & Symposium
Sharing Environment Design



UDL
/32 IPv6 sTLA
Multicast PIM-SIM
IPv6 Multicast

2007 (20%)

技術の開発、運用、オペレーターの育成
すべてはコミュニティ

オペレーター(NWエンジニア)を育成 各拠点は自律・分散・協調するコミュニティ

**1st Operators
Workshop @
SFC 2002**





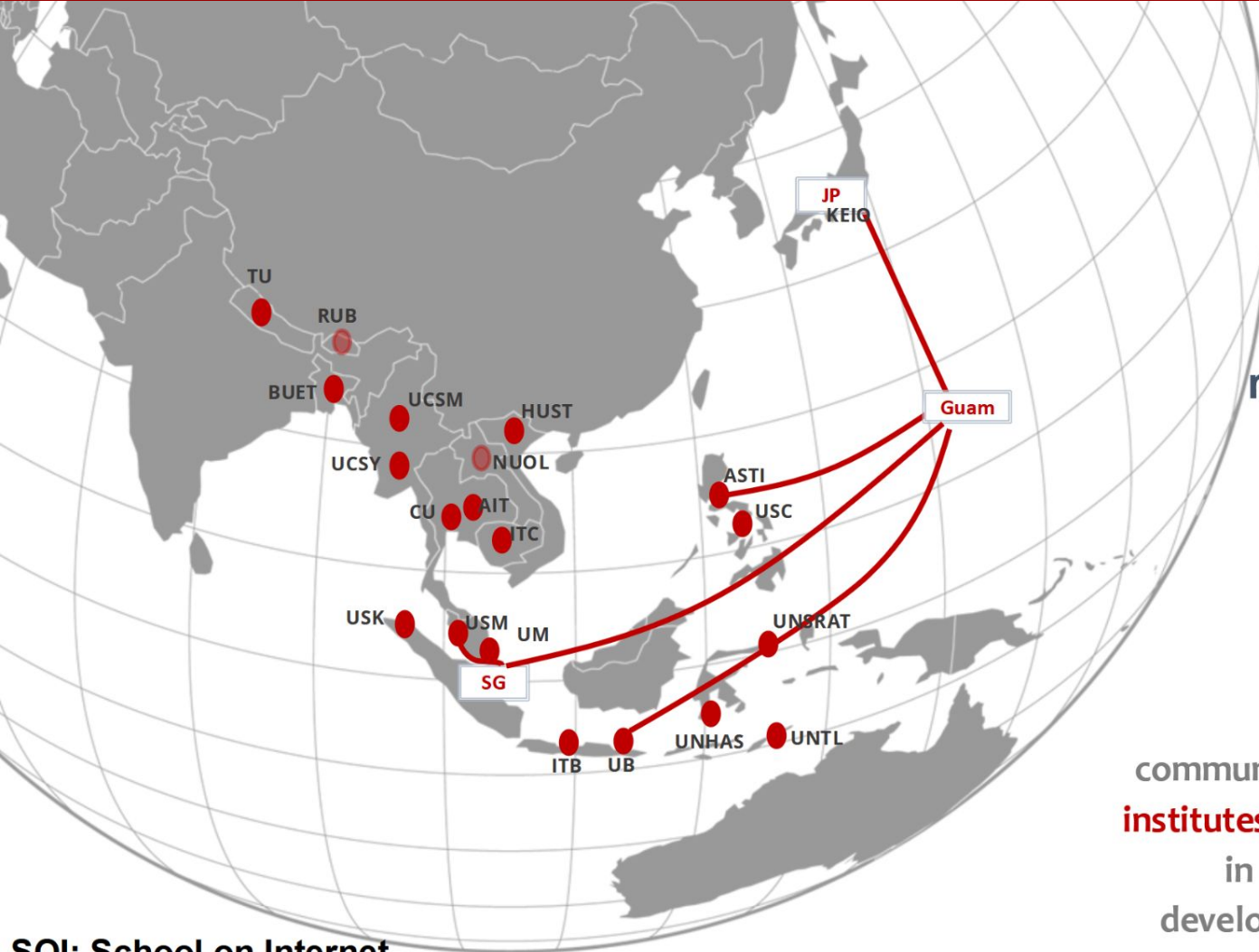
2021

68%

New form of
research & education
community

SOI Asia:

community of **universities & research
institutes** in Asia Pacific to collaborate
in education, research, and REN
development for **regional resiliency**



SOI: School on Internet

Asia Pacific Internet Engineering Program

- **教育/研究コミュニティ** による教育プログラム
- アジア太平洋地域の大学学部生と **若者がターゲット層**
- インターネットが必要とする次世代の人材を継続的に産み出す。
 - コミュニティが必要とする人材をコミュニティで教育する

SOI Asia のサブプロジェクトとして2021年より活動開始

4 Advisory members & 9 Curriculum Committee members from ..



SOI Asia's mission: Design a **Resilient Future** in Asia Pacific



**Research, Development,
Operation and Education Projects**

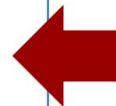
Community
Based
Research
Framework

CBR

Education for
Social Resilience



Education for Internet
Infrastructure Resilience



INXIGNIA

ID • Micro-credential Digital Platform



Research Data Platform for Promoting Open Science



unesco



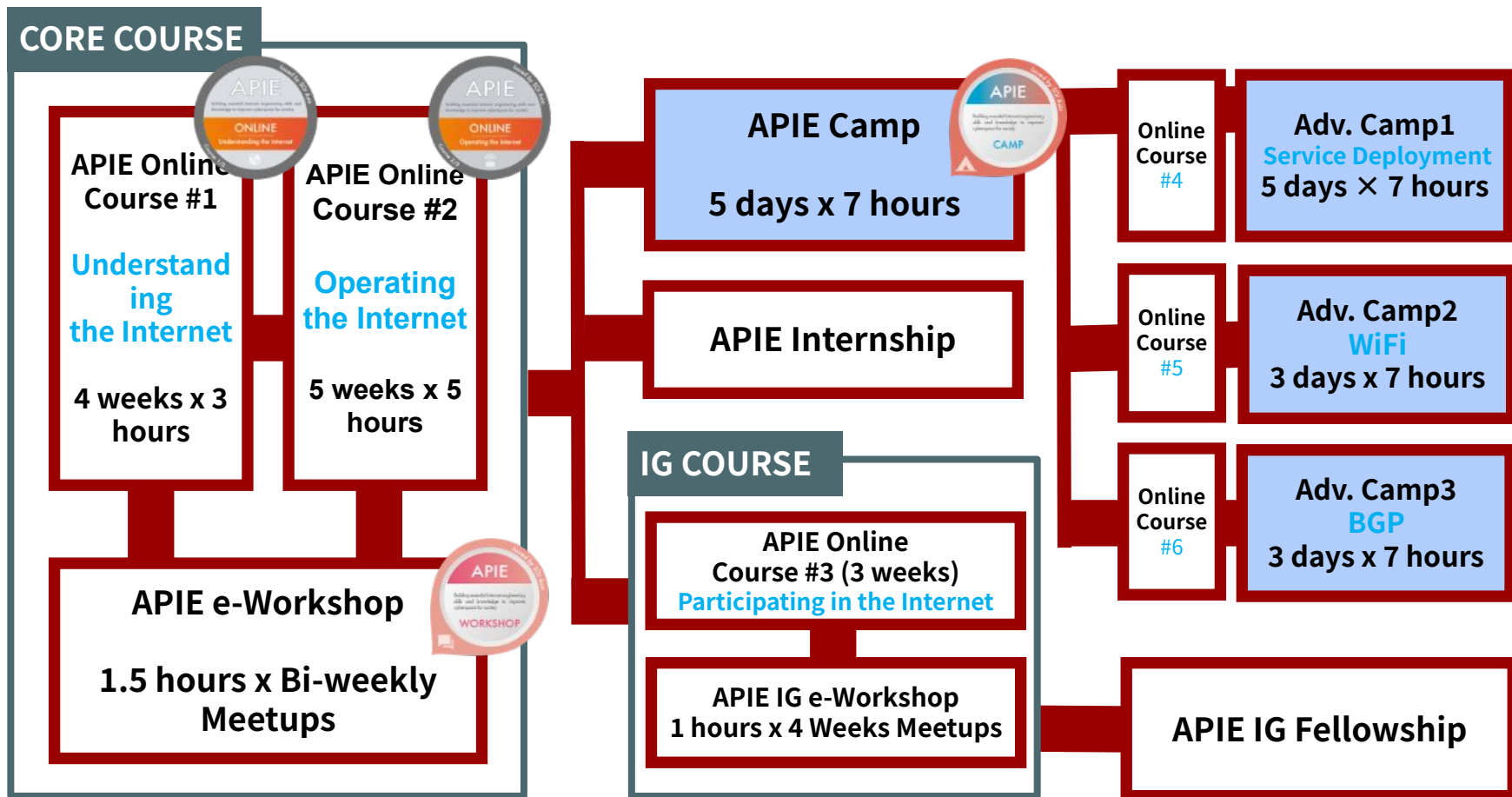
Research Network Testbed



ARENA-PAC

Research and Education Network (REN)

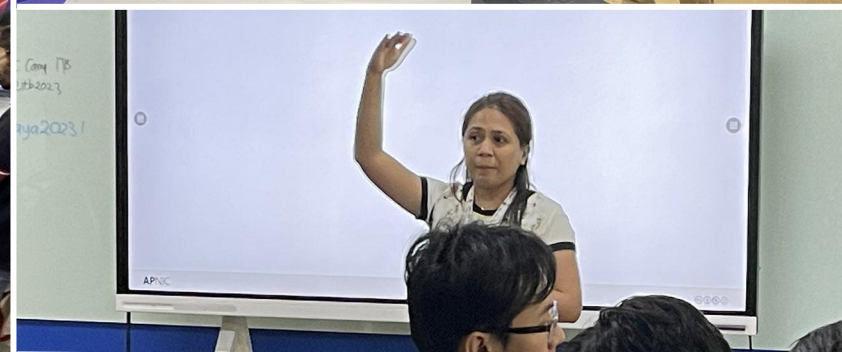






アジア各国で Camp を実施

インドネシア / マレーシア / 日本 / ベトナム / ネパール



ShowNetツアー

APIE Advanced Campでは
参加者をInterop Tokyoへ



AITAC APIE プログラムの
Interop Tokyo 2026
ShowNet見学を支援

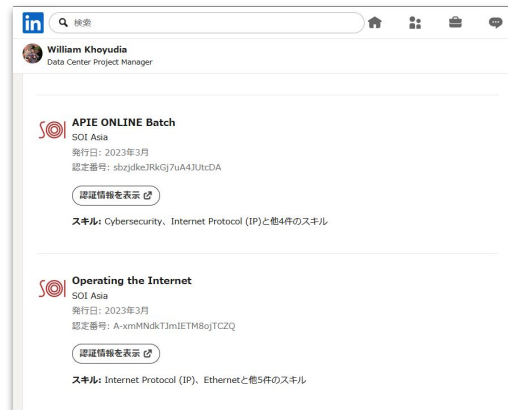
Meet the Internet Engineers

- ・ 学習者がOB/OG、現役エンジニア、研究者などとカジュアルに話せる場
 - ・ Advanced Campの修了式と併催



デジタルバッジによる可視化

- Open Badge準拠のBadgeを発行(INXIGNIA)
 - LinkedInなどで表示できる
 - 学習履歴/学習内容を詳しく共有できる
 - 就職時などにも活用
- APRICOTでも活用中
 - 2026年2月のトレーニング

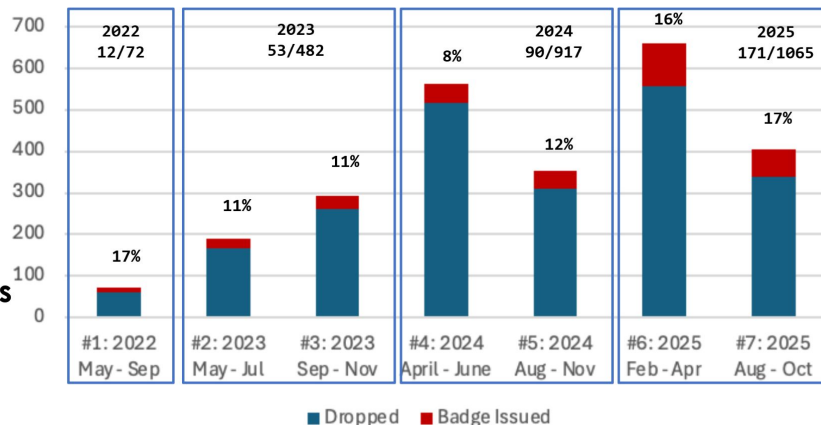


2,536
Enrolled

326
Badge
Issued

9
Economies

APIE Core Course Enrollment & Badge Issued



卒業生は様々なFellowshipへ

- APAN, APNIC, ICANNなどのフェローシッププログラムに多くの修了者が参加中
- イベントや次のステップを継続して情報発信、アドバイスしてくれるメンターとの出会い



TA/インターンシップ

- ・ プログラムを修了した学生をTeaching Assistantとしてインターンシップ雇用
 - ・ 質問に答えたり教えられるレベルまでスキル向上
- ・ インターンの役割
 - ・ オンライン教材のモデレーター(質問回答など)
 - ・ 各大学/各国において広報活動
 - ・ 友達や後輩には、教員やお知らせ掲示板よりも知っている人の口コミはとても有益な情報
 - ・ WhatsupやSlackなどで各国語のコミュニケーションチャンネルや情報発信
 - ・ Infoセッションやハンズオンセッション
 - ・ Virtual Lab等を学内にあつまってみんなでワイワイ楽しく学習
 - ・ 新たに参加したパートナー大学の学生の支援

What Am I Doing?



Offline Clinic
Session @ITB



OSPF lab Offline Clinic
Session

メッセージ

- ・ いつでもどこでも学べるオンライン→対面で時間や場所を共有する合宿の組み合わせ
 - ・ 手軽に始められ、多くの人へ影響を与える
 - ・ 深い学びへ進みたい人だけ対面へ
- ・ 人材育成プログラムやコンテンツは大事だが、学習者が集うコミュニティも大事
 - ・ 学びを提供するだけでなく、場を作ることが最重要
 - ・ 学習者がプログラム終了後に関与できる
- ・ 誰もが役割をもって活躍できる場を作り続ける
 - ・ Teaching Assistant
 - ・ 実習や学習用ネットワークのNOC
 - ・ 交流イベント
 - ・ ゲストスピーカー